



糖尿病ではさまざまな合併症が起きます。目で心配なのが三大合併症の糖尿病網膜症です。血糖が高い状態が長く続くと、網膜の毛細血管が詰まって酸素が不足した状態になります。その結果、新しい血管を作って補おうとしますが、もろいため出血を繰り返し、進行すると網膜剥離や失明につながります。

糖尿病網膜症は、三段階に分けられます。初期の単純網膜症は、出血や

## ⑥3 糖尿病網膜症(眼科)

白斑が出現しますが、内科的治療で血糖コントロールをして経過観察をします。中期の増殖前網膜症は、単純網膜症よりも出血や白斑がさらに増え、多くの場合、レーザーで網膜を焼いて進行を止める治療をします。末期の増殖網膜症になると、目の大部分を占めるゼリー状の硝子体で出血したり、網膜剥離が起きたりします。血を吸引する手術やレーザー治療などがありますが、病状が進むと視力は極端に低下し、失明することもあり



眼底の画像を撮る機械＝名古屋市中区の中日病院で

ます。

初期から中期は、視力低下など自覚症状がない場合もあり、糖尿病の奥に出血や白斑がないかを定期的に眼科を受診し、子眼科副部長・談

眼底検査を受けるように

# 症状進行すれば失明も

中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。☎中日病院 =052(961)2491